

日本風景街道だより

2012年 冬 Vol. 18

活動団体のみなさまへのお知らせ

日本風景街道のロゴマークの使用手続きを受付中

このたび、日本風景街道の印象を高め、より多くの方にこの取り組みを知ってもらえるよう、ロゴマークの使用を開始しました。

ロゴマークのデザインは、日本風景街道の仕組み等について検討を行った日本風景街道戦略会議(委員長:奥田碩日本経団連名誉会長)の委員であるファッションデザイナーのコシノジュンコ氏に作成して頂きました。

作成にあたり、コシノジュンコ氏の複数のデザイン案をホームページに掲載した上で、活動される団体の方を始め広く国民のみなさまからご意見を伺い、これらの貴重な意見を踏まえ、コシノジュンコ氏が奥田委員長、中村良夫副委員長(東京工業大学名誉教授)と相談しつつ、ロゴマークの最終デザインを決定しました。

日本風景街道の活動に関わる地域の方々に、このロゴマークを活用いただくことで、日本風景街道のますますの普及に努めてまいります。

ロゴマークの使用に関しては、使用目的、使用場所、使用期間、使用イメージ等を記入した申請書を地方整備局等に提出し、その許諾を受ける必要がありますので、末巻に掲載している最寄りの地方整備局等の担当窓口にお問い合わせください。

日本風景街道のロゴマークコンセプト

『日本風景街道』のロゴマークは、優美な風貌から、日本の象徴として国民から親しまれ、国内外に広く知られている富士山をモチーフに、日本の国土が有する豊かな自然環境とを融合させ、緑のグラデーションで表現しました。

また、日本の伝統ある歴史や文化が、道路を介して、未来へと続いていくことへの願いをこめて、モチーフである富士山を取り巻く曲線で表現しました。

このロゴマークが、『日本風景街道』のPRや品格あるイメージの形成に主眼を置き、印刷物やイベントなどに積極的な活用がなされ、だれもが日本全土の自然、景観、食文化などの地方独自の風土にまつわる多様な地域文化に感じられるシンボルマークとなることを期待しております。

コシノ ジュンコ



Copyright © Road Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

シリーズ:各地域の風景街道の取り組み

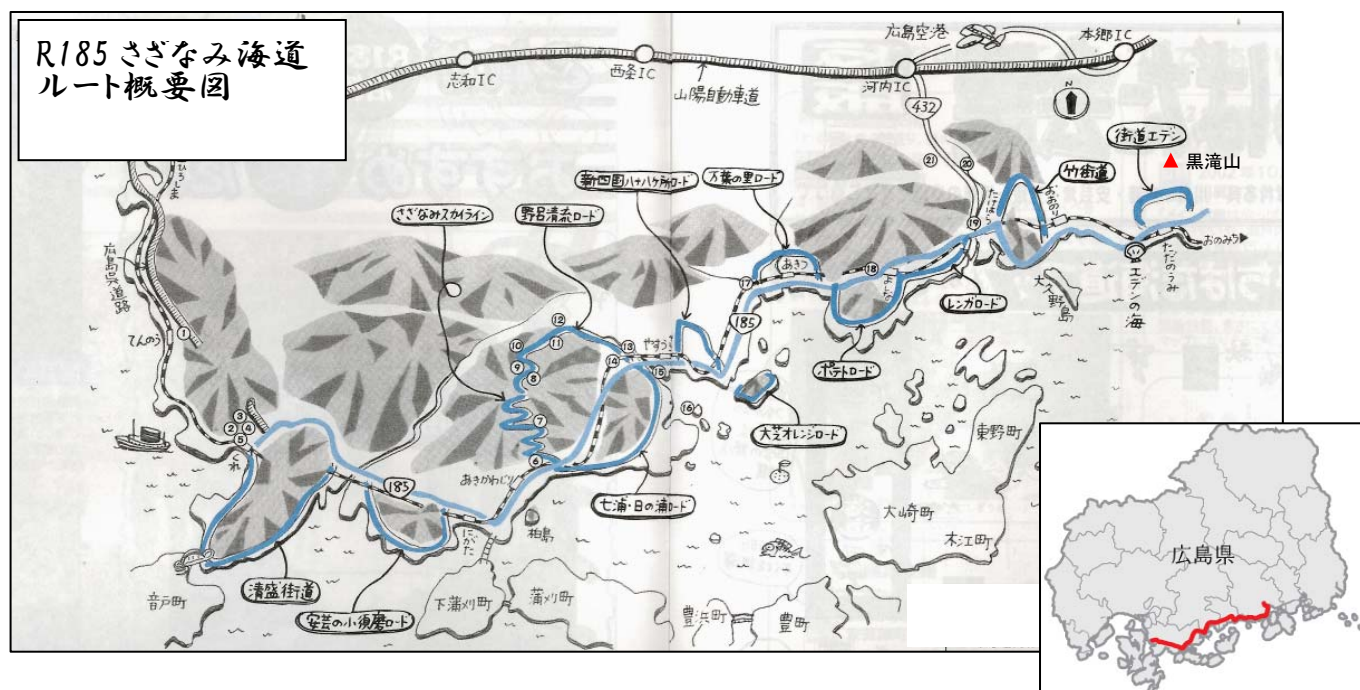
R185 さぎなみ海道 (国道185号西瀬戸海道道路環境整備協議会)

1. ルートの概要

「R185号 さぎなみ海道」は、呉市、東広島市、竹原市を経て三原市に至る瀬戸内海沿いの国道185号をメインルートとしており、多くの観光資源・地域資源や特徴ある産品に恵まれ、また美しい瀬戸内の景観を楽しむことができるなど、たいへん恵まれた条件を備えております。

昔からこの地域は、『海の道』として栄え、遣隋使や遣唐使が行き交い、源平の合戦の舞台となったところです。また、水軍の拠点となった戦国時代から江戸時代にかけても、海路が重要な交通手段であったため、このあたりは港町として大いに賑い発展してきました。

このような歴史がはぐくんだ「海の民」の文化は、祇園祭や管弦祭などの祭りをはじめとして、さまざまなかたちで今日まで引き継がれています。国道185号は、明治の後半に呉鎮守府の設置によって軍事目的でつくられましたが、海の幸、山の幸に恵まれ、瀬戸内ならではの表情豊かな風景が楽しめるこの道は、今では「生活の道」として、また人々の心を癒す「やすらぎの道」として、沿線各市をつないでいます。



エデンの海



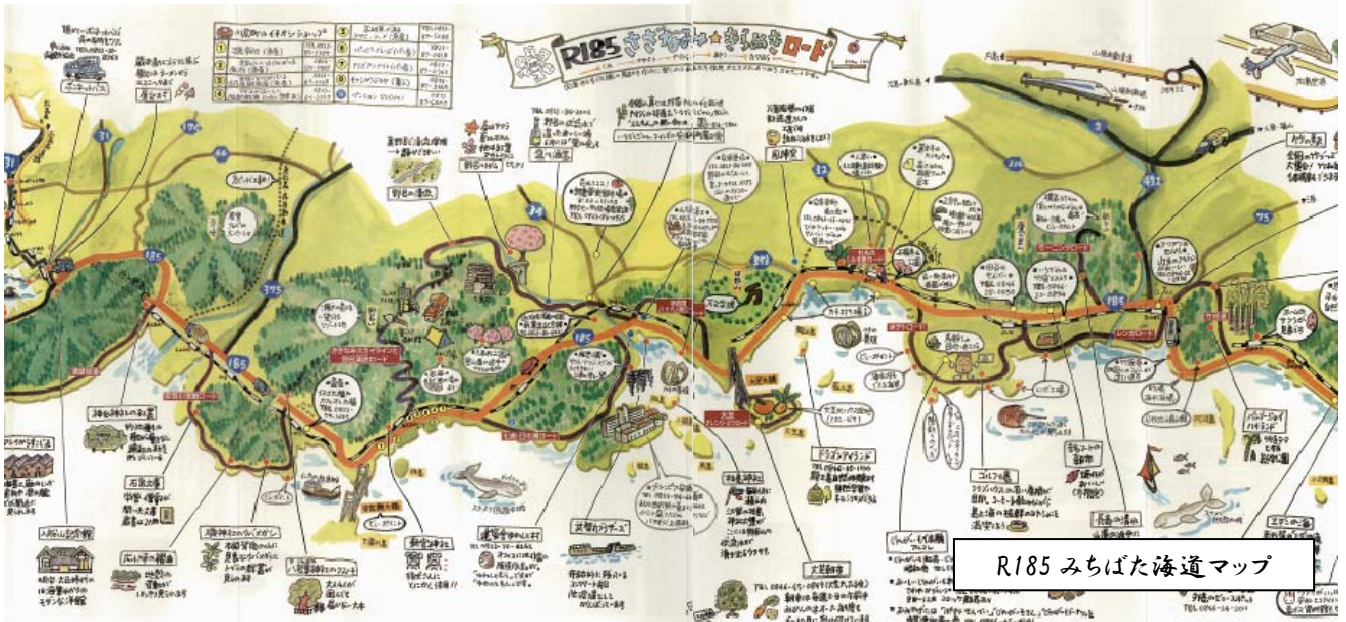
黒滝山からの日の出

2. これまでの活動

「R185 さざなみ海道」の様々な活動方針を決定する「R185 みちばた会議」は、海道沿線各市で組織する「国道185号西瀬戸海道道路環境整備協議会」の中で開催されている会議で、沿線地域の住民と行政とが、地域への想いや地域の将来像について語りあう場となっています。平成10年に発足して以来、国道185号を活かして地域をつなぎ、より魅力的な地域にしていくため、様々な企画や提案に基づき積極的に地域振興活動を行ってきました。これまでの活動としては、会員が、自らの足で探した隠れた名所・旧跡や季節の祭り、名店などを紹介した「R185 みちばた海道マップ」の作成や道路利用者に沿線の観光スポットを紹介する案内板「みちばた道標」の設置、また、地域づくりに精通したパネラーを招いて「みちしるべ座談会」の開催などを行っており、活動を通して地域を再確認するとともに交流連携・情報共有を図っています。



みちばた道標



3. 最近の主な活動

(1) 総会記念講演

「みちばた会議」では、毎年、「国道185号西瀬戸海道道路環境整備協議会」総会終了後に、地域づくり活動を熱心に行っているNPO法人代表者などを全国から招いて記念講演を行い、今後の地域づくりを考える機会を設けています。

平成22年度は、NPO法人「吉備野工房ちみち」の代表者 加藤せい子さんを招き、「地域づくりにつながる活動について」と題して記念講演を行いました。講演では、長年のボランティア活動の経験談やNPO法人に至った経緯、地域との関わり方や地域づくりのノウハウなどをお話いただきました。



記念講演の様子

(2) ひろしま西部街道交流会

昨年度は、地域情報の共有と交流圏の拡大を図るため、広島県西部で積極的に地域づくり活動をしている「夢街道ルネサンス」認定3団体と共に、「道の駅たけはら」において、「ひろしま西部街道交流会」を開催し、各団体の活動紹介や地域づくりの課題、解決策についての意見交換会、また、フィールドワークとして「竹原市竹原地区重要伝統的建造物群保存地区」の視察を行い、「みちばた会議」の更なる発展に向け、大変有意義な交流会となりました。



意見交換会の様子



フィールドワークの様子

4. 新たな活動

近年、健康志向、環境保全意識の高まりなどに伴い、サイクリング愛好者が増加し、R185沿線においてもサイクリストの姿をよく目にするようになりました。また、広島県の「瀬戸内海の道構想」において、さざなみ海道は、しまなみ海道、とびしま海道と共に、多島美や温暖な気候、豊富な地域資源などサイクリングロードとしてのポテンシャルの高さが認められています。

これらの状況を踏まえ、地域活性化施策のひとつとして、しまなみ海道、とびしま海道とあわせたサイクリングネットワークの早期形成に向け、サイクリストを受け入れる環境を整える必要があると考え、「国道185号西瀬戸海道道路環境整備協議会」では、今後サイクリングロードとしての機能を持つように、環境整備に段階的に取り組むことを決定しました。



模擬走行



サイクリングネットワーク

5. おわりに

「みち」は、ただ単に物資の輸送路としてだけでなく、多くの人・物・情報が行き交うことによって人々の生活を支えています。市町村合併が進み、新しい時代に向けての「みちづくり」が問われる中、「みち」「地域」「人」が一体となり発展していくことが重要だと考えています。「みちばた会議」では、国道185号沿線地域の歴史・文化・自然を再発見するとともに、それらを活かした「地域づくり・みちづくり」を地域住民が主体となって考え、実現していく場です。今後も、各種活動を通して、パートナーや地域住民とともに、「みち」の担う役割や新たな価値の創造を目指し、さらに研鑽していきたいと考えています。

<執筆者>

「R185 さぎなみ海道」事務局

竹原市 建設産業部 建設課 茅野 一郎・山口 朋之

シリーズ:各地域の風景街道の取り組み

北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”（北九州風景街道推進協議会）

1. ルートの概要

江戸時代、海外との交易を許された唯一の町「長崎」に通じる道として重用された長崎街道。「北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”」は、門司港レトロから、その長崎街道を通り、木屋瀬に至るまでの約40kmのルートを対象とする風景街道です。

ルート沿線では、江戸時代の面影を残す木屋瀬・黒崎・小倉といったかつての宿場町や城下町の風情を楽しむだけでなく、官営八幡製鐵所に代表される近代化産業遺産、大正ロマン漂う門司港レトロなど、幾世代にも渡る史跡や名所を、皿倉山や関門海峡などの美しい風景とともに満喫することができます。

また沿線では、年間を通して街道にちなんだ催事や、休憩施設などでおもてなしをする様々な団体が活動しており、地域の個性や魅力を創出しています。



立場茶屋銀杏屋まつり



黒崎歴史展



長崎街道黒崎宿ランタン祭

北九州風景街道（長崎街道）推進協議会は、このルートを対象に活動する38の団体・機関（平成24年2月現在）のパートナーシップとして設立され、今年で5年目を迎えました。

2. 平成23年度の活動状況

(1) 総会と地域関連イベントの併催

北九州風景街道（長崎街道）推進協議会では、年に一回、所属会員が集まり、役員人事や規約改正、活動計画などを決定する総会を、一般の方々への周知を目的としたイベントと合わせて開催しています。

本年度は開催地となった黒崎宿のまちあるきや北九州風景街道フォトコンテスト作品の人気投票、長崎街道沿線やルート内の地域資源を紹介したパネル展示を行いました。

また、長崎街道筑前六宿開通 400 年を控え、開催地の八幡西区役所が実施する「長崎街道サミット イン 黒崎」では、歴史家・作家の加来耕三氏の基調講演、長崎街道沿線で活動している団体によるパネルディスカッションに多くの市民が来場しました。

さらに今年で三回目となる協議会加盟団体が主催する「長崎街道黒崎宿 曲里の松並木 あかりまつり」も同日開催され、地域の盛り上げに貢献しました。



黒崎宿スタンプラリー



加来耕三氏の講演会



フォトコンテスト人気



パネルディスカッション

(2) 街道ウォークと北九州風景街道パネル展

11 月には昨年に引き続き、長崎街道の沿線を歩くウォーキングを民間企業と協働で実施し、記念品として北九州風景街道タオルやパンフレットを配布し、風景街道の周知を行いました。

また、同時期に開催中の「まつり起業祭」がウォーキングの通過地点となっていたため、北九州風景街道PRブースを設け、たくさんの来場者にお越しいただきました。今年は長崎街道を歩いたといわれる人物や動物をテーマに、白象の模型展示やパネルクイズなどを行い、数多くの来場者の関心を集めました。



長崎街道を歩いたとされる象の模型展示



にぎわうPRブースの様子

(3) 東田遊歩道整備記念ウオーク

本協議会加盟団体会員が協力して、計画・整備された北九州市八幡東区内の「東田遊歩道（仮称）」。
その完成を記念したウオーキングを3月に開催します。本協議会に今年度新規加入した「北九州ウオーキング協会」と「北九州風景街道（長崎街道）推進協議会」が共催し、企画・運営に携わっています。

長崎街道沿いの地域資源を巡る約10kmの3コースが企画され、ゴール地点である東田遊歩道を目指して一斉にウオーキングします。

ゴール地点では整備記念式典や北九州のご当地グルメのふるまいなどが行われ、長崎街道筑前六宿開通400年を記念した催しの一環として、街道沿線の盛り上げ、地域のにぎわいづくりに貢献します。



完成した東田遊歩道



開催ちらし

3. 新たな取り組みについて

本協議会では、加盟団体の活動や沿線の見所の紹介、イベント情報を掲載した「かわらばん」と名づけた会報誌を、現在第17号まで発行しています。

今年度は新たな取り組みとして、北九州風景街道のルートを地域ごとに紹介したマップを掲載しています。対象地域で活動する加盟団体会員の意見を反映させた情報を元に、地域資源や観光コース、年中行事やおすすめの撮影スポット（トルパ）などを紹介し、会員のほか、北九州市民や本市来訪者が楽しみながら歩くことのできるマップです。

また、今まで活用していた「北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”」のパンフレットを見直し、対象ルートや活動をよりわかりやすく広報するため会議を重ね、リニューアルを進めています。



3月にウオーキングが開催される東田地区のマップが掲載された最新号

4. おわりに

今年度は九州風景街道推進会議から「年間優秀活動賞」を受賞するなどこれまでの活動が評価されるまでに至りました。2012年の長崎街道筑前六宿開通400年記念を祝い、1月に筑前六宿の関係者(山家、原田、内野、飯塚、木屋瀬、黒崎)が長崎街道筑前六宿開通400年記念事業実行委員会を立ち上げ、連携事業の検討を始めています。2月には黒崎宿、木屋瀬宿関係者による同記念黒崎・木屋瀬キャンペーン推進委員会を発足させ、街道を活かした活動への機運の高まりも感じられます。これまでの活動を続ける中で見えてきた様々な課題もありますが、今一度加盟団体の方々の意見を整理し、その内容を反映して、地域の活性化に貢献できる魅力のある風景街道づくりに取り組んでいきたいと考えております。

シリーズ：社会資本整備総合交付金の活用事例

「地域住民と協働した道づくり地域づくりの推進」 ～丹波らしい道路景観整備～

ルート名：たんば三街道（兵庫県篠山市、丹波市）

1. たんば三街道の概要

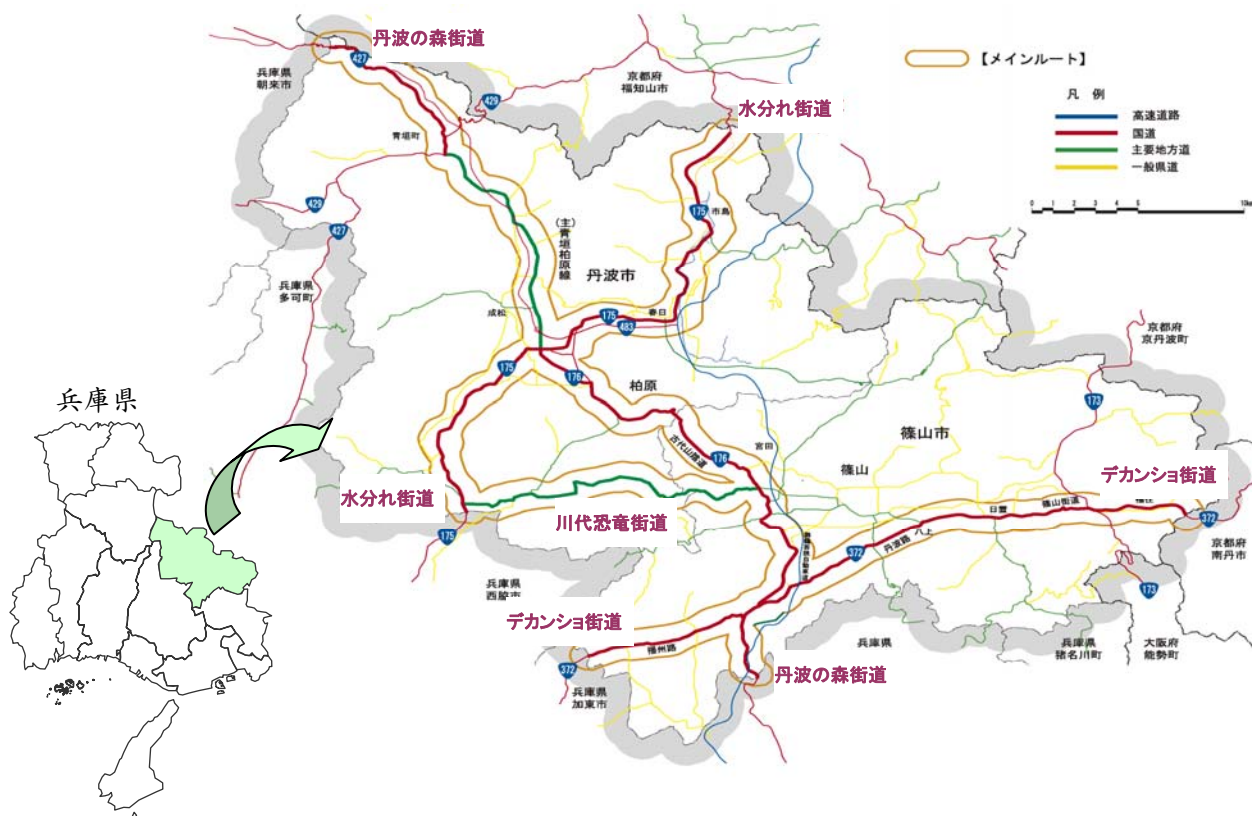
兵庫県の中東部に位置する丹波地域では、地域全域を「丹波の森」と位置づけ、緑豊かな自然や伝統文化など、地域の特性や資源を生かしながら、人と自然と文化・産業が調和した地域づくりを展開しています。

このような活動の中で、道からの風景を守り育み、道を地域づくりに生かそうという機運が高まってきたことから、地域住民と協働で取組む道づくりを地域づくりにつなげるため、日本風景街道に登録し、さまざまな活動支援を行っています。

たんば三街道は、水分れ街道、丹波の森街道、デカンショ街道の3街道に、川代恐竜街道（県道篠山南線の一部）を加えた4つの街道を中心道路としたルートで、これらの街道を地域全体の玄関口と捉え、特徴的景観を磨くとともに、他の道路については、人の温もりや伝統文化・自然をゆったり味わう交流空間と捉え、里文化の保全やツーリズムの受け皿づくりを推進しています。



【丹波の森街道（国道427号）】



【たんば三街道エリアマップ】

2. 取組み内容

兵庫県丹波県民局では、地域住民や地域活動団体の活動を推進するため、社会資本整備総合交付金を活用し、以下の取組みを実施しました。

(1) 地域団体による道づくり地域づくり活動への助成（平成19年度～22年度）

丹波地域で活動する地域団体の更なる活動の発展を図るため、「道づくり地域づくりコンペ」を実施しました。

地域団体による提案内容を審査し、道からの風景形成と地域づくりにつながる活動を対象として、平成19年度～22年度で全17件の活動へ助成を行いました。

助成活動例として、地域の小学生に風景について考える機会を提供する「風景学習プログラム」や街道沿いの休耕田を利用して菜の花を栽培する「菜の花プロジェクト」等の活動に助成を行いました。



【菜の花プロジェクト】

(2) 県道篠山山南線風景整備計画の策定（平成21年度）

たんば三街道の中でも、哺乳類化石・恐竜化石の発見と風光明媚な川代溪谷で注目されている県道篠山山南線の一部において、地域住民とのワークショップを実施し、風景整備計画を策定しました。

基本計画の主な内容として、施設整備については、遊歩道や案内サイン等の整備を掲げ、地域住民との連携協働については、清掃活動の実施や道の愛称募集などを位置づけました。

平成21年度には、整備計画に基づき、道路愛称を公募した結果、愛称を「川代恐竜街道」に決定しました。

また、平成22年度には、地域住民の意識を更に高めるため、街道の起終点に設置する道路サインのデザイン募集を公募し、「川代恐竜街道」をイメージするデザインを決定しました。



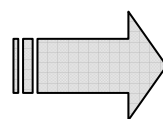
【(左)道路サイン、(右)風景整備計画】

(3) 川代公園散策路整備（平成21年度～23年度）

県道篠山山南線沿いに遊歩道が整備されている川代公園（丹波市）は、県道から公園へのアクセスが未整備でした。このため、出入口を新設することで県道の歩道（散策路）機能を付加し、街道を歩く歩行者の安全を確保するための整備を行いました。



【整備前】



【整備後】

3. 今後の展開と課題

兵庫県丹波県民局で実施する社会資本整備総合交付金は、今年度で完了しますが、今後、川代恐竜街道のうち、景観、自然、歴史資源に恵まれた区間（約10km）について、ウォーキングコースの設定や歩行者のための道路サインを設置していく予定です。

また、丹波市では、社会資本整備総合交付金を活用し「丹波竜の里地区都市再生整備計画※」に取り組んでおり（平成23～27年度）、引き続き、地域住民や関係団体等と連携協働し、たんば三街道の風景街道づくりに取り組んでいきます。

一方で、今後の風景街道づくりにおいては、地域住民による自立した活動を継続的に発展させていくことが重要です。そのためには、種々の地域活動の推進や地域間連携、地域と行政の協働、地域内外へのPR力を強化していくことが必要であり、そのための仕組みづくりが今後の課題となっています。

※「丹波竜の里地区都市再生整備計画」は、恐竜化石の発見を受け、地域資源を生かしたまちづくりと市の情報発信を行うため、丹波竜から、1) 観光・交流を通して経済活性化に活かす、2) 情報発信とイメージアップに活かす、3) 広域連携とネットワークに活かすまちづくりを進めることをめざしています。

全国で126の風景街道が登録

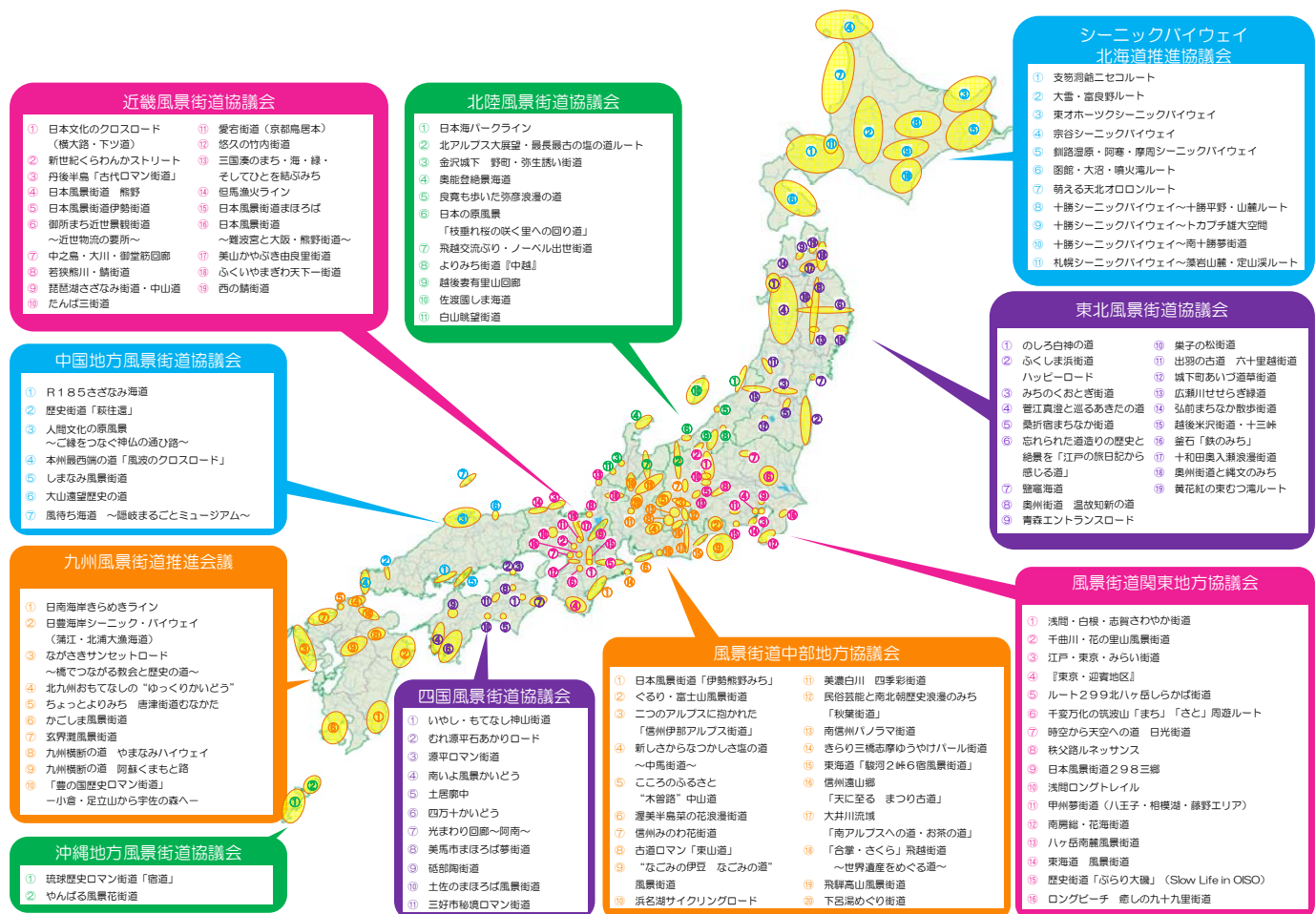
平成23年12月に中部地方で3ルートが新規登録されました。

これより、全国で126の風景街道が登録されました（平成24年2月末現在）。

中部地方の新規登録ルートは『「合掌・さくら」飛越街道 ～世界遺産をめぐる道～』、『飛騨高山風景街道』、『下呂湯めぐり街道』です。

なお、登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ

(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。

掲示板利用の登録や、日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	種蔵 史典	011-709-2311(代表) (内線 5357)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	宍戸 英雄	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	吉沢 仁	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	遠藤 正樹	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	服部 一宏	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	田島 祐介	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	妹尾 圭人	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	渡辺 修身	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	鈴木 昭人	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	末光 勇次	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>